

ノート見本です。ノートに書き写して使いましょう。

## ☆ 2 つの数の関係 教科書 P27～

㊦ 円の直径の長さ と 円周の長さ の関係を表す式

$$1\text{cm の場合} \cdots 1 \times 3.14 =$$

$$2\text{cm の場合} \cdots \_ \times 3.14 =$$

$$3\text{cm の場合} \cdots \_ \times \_ = \_$$



$$\square\text{cm の場合} \cdots \square \times 3.14 = \bigcirc$$

$$x\text{cm の場合} \cdots x \times 3.14 = y \text{ で表す}$$

★x や y などの文字を使うと、数量の関係を 1 つの式にまとめて表すことができる。

⇒ x に当てはめた数を【x の値】という。

その時の y になる数を【y の値】という。

P28②  $x \times 3.14 = y$

x = 10 式)

答)

cm

x = 15 式)

答)

cm

x = 20 式)

答)

cm

暗算できない場合は、式と答えの間に筆算する。必ず筆算は残し、消さないこと。  
筆算を消すメリットは何もない。残しておけば、見直しの時の道しるべになるし、もし間違えていたときも、どこで間違えたかを確認する材料になる。また、答えを見たりズルをしていないという証拠にもなる。

P28③  $x \times 3.14 = y$   $x$  が 2.5 のとき  $y$  の値  
式)  $2.5 \times 3.14 = y$

答)

P28④  $x \times 3.14 = y$   $y$  が 47.1 のとき  $x$  の値  
式)  $x \times 3.14 = 47.1$

答)

P28△ 2

①式)

②式)

③式)

④式)

## 学習感想

(分かったこと、疑問、もっと知りたいこと、考えたこと)

---

---

(5/18 ここまで)

答え P28②  $X=10$  のとき  $Y=31.4$ 、  $X=15$  のとき  $Y=47.1$ 、  $X=20$  のとき  $Y=62.8$

P28③ 7.85 P28④ 15

P28△ 2 ①  $x \times 6 = y$  ②  $2 - x = y$  ③  $x + 0.6 = y$  ④  $x \div 10 = y$